

# たがじょう

## 市議会だより



▲さいとうゆずゆちゃん、りんとちゃん

国保税値上げ!!

クローズアップ

一般質問

追跡レポート



▲えんどうけんたちゃん、たろうちゃん  
(あかね保育所にて)

◀たなかゆうかちゃん  
あいりちゃん



No.74

平成23年(2011年)  
2月1日発行



●平成二十二年第四回定例会

市民の命と健康を守るための、決断！  
国保税の値上げ案を可決！

昨年十二月八日から十五日までの八日間にわたり、第四回定例会を開催しました。今回、市長が提出した議案の中には、市民生活と直結する内容が多く、審議を巡って二度も議員から動議が提出されるなど、白熱した議会になりました。

(関連記事四ページ～五ページ)

非核平和都市宣言を決議

世界情勢が緊迫している昨今、議会は非核平和都市を宣言し、だれでもが平和に暮らせる世界の実現を目指すことを決議しました。

多賀城市非核平和都市宣言

恒久的な世界平和の実現は、多賀城市民はもとより人類共通の悲願です。

世界で唯一被爆の体験をもつわたしたちは、二度と惨禍をくりかえさないよう、戦争と核兵器の廃絶を訴え、平和に暮らすことができる世界の実現をめざします。

悠久の歴史に培われた郷土を慈しみ、やすらぎのある暮らしを願う わたしたち多賀城市民は、日本国憲法の恒久平和の理念に基づき、ここに「非核平和都市」を宣言します。

以上、決議する。

平成22年12月15日

宮城県多賀城市

意見書

議会は、農業をはじめ地域の産業を守るため、国に「TPP参加への慎重な対応を求める意見書」を提出することを可決し、早速、衆議院議長や内閣総理大臣あてに送付しました。

また、市民の健康を保障することは国の責務であることから、現在半減している国庫支出の負担割合を五十%に戻すこと等を主旨とする「国保危機打開のために、国庫負担増の措置を求める意見書」を、衆議院議長や厚生労働大臣等に送付しました。

請願・陳情

「後期高齢者医療制度の廃止に関する意見書の提出を求める請願」

主旨は、老人保険制度を復活させ、だれでもが平等に受けられる持続可能な医療制度をつくり直すよう市議会として政府に意見してほしいというもの。

審議の結果、内容をさらに精査すべきとの判断から、継続審査となりました。

「国保の危機打開のために、国に必要な施策を講じるよう求める意見書の提出を求める請願」

議会として、政府に国庫負担を元に戻す抜本策を求めるとともに、当面の緊急策を求める意見をしてほしいというもの。  
本件には議員全員が賛同し、早速、意見書を提出しました。

陳情

四件の陳情をいただきました。陳情内容は、今後、議会活動の参考とします。

「中小企業予算の拡充を図り、最低賃金の時間額千円の早期実現を求める国に対する意見書採択を求める」陳情

「高齢者の生活実態に見合う年金引き上げを求める意見書の採択を求める」陳情

「最低保障年金制度の意見書の採択を求める」陳情

陳情書「議会議員のバス利用についてのお願い」、「市議会議員候補者の資格について」、「生活保護者についての案（権利と義務）」

# 平成22年第4回定例会及び第3回臨時会の議決結果一覧

## 〔第4回定例会〕

○市長が提出した議案

- 1 行政組織条例の一部を改正する条例  
※下水道部の廃止
- 2 保育所条例の一部を改正する条例  
※あかね保育所の民営化
- 3 国民健康保険税条例の一部を改正する条例
- 4 指定管理者の指定（文化センター）
- 5 指定管理者の指定（総合体育館外スポーツ施設）
- 6 一般会計補正予算（第6号）
- 7 国民健康保険特別会計補正予算（第2号）
- 8 介護保険特別会計補正予算（第2号）

- 9 下水道事業特別会計補正予算（第3号）
- 10 水道事業会計補正予算（第3号）
- 11 一般会計補正予算（第7号）

○議員が提出した議案

- 12 非核平和都市宣言に関する議決
- 13 TPP参加への慎重な対応を求める意見書
- 14 国保の危機打開のために、国庫負担増等の措置を求める意見書

## 〔第3回臨時会〕 ※平成22年11月26日に開催

○市長が提出した議案

- 15 専決処分の承認・報告（和解及び損害賠償の額の決定）3件※公用車による交通事故等
- 16 職員の給与に関する条例等の一部改正
- 17 市長等の給与に関する条例の一部改正
- 18 教育長の給与及び勤務時間等に関する条例の一部改正
- 19 水道事業管理者の給与及び旅費に関する条例の一部改正
- 20 議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正

※引き下げの審議

○賛成 ×反対 欠 欠席議員

案件等の番号	日本共産党				多賀城自民			公明党			自由民主		民政		風	21	ビ	市	新	無	審議結果	
	柳原清	佐藤恵子	藤原益栄	戸津川晴美	伏谷修一	森長一郎	吉田瑞生	相澤耀司	松村敬子	根本朝栄	米澤まき子	板橋恵一	小嶋廣司	金野次男	雨森修一	阿部五一	深谷晃祐	中村善吉	尾口好昭	昌浦泰巳		竹谷英昭
1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
3	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	原案可決
4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
6	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	原案可決
7	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	原案可決
8	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	原案可決
9	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	原案可決
10	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	原案可決
11	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
12	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
13	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
14	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
15	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案承認
16	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
17	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
18	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
19	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
20	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決

※会派名 日本共産党＝日本共産党多賀城市議団、多賀城自民＝多賀城自民クラブ、公明党、自由民主＝自由民主クラブ、民政＝民政ネットクラブ、風＝新風の会、21＝新政クラブ21、ビ＝ビジョン21、市＝市民クラブ、新＝新世紀クラブ、無＝無会派（議長）



# 会計を救うため、

こくほ十病院

# クローズアップ




クローズアップ



各議員から

- 負担増による滞納者の増加が懸念される。
- 国庫支出金の減（割合）に対する対応は。
- 一般会計からの繰り入れは評価するが、市民に対しての周知はどうするのか。
- 早急な制度改革が必要ではないか。
- 現在でも大きな国保負担なのに、15%の値上げは市民にとって大変ではないか。
- 12月議会で決めずに、せめて2月議会まで議論をすべきでないか。






国に対し、「国保危機打開のために、国庫負担金増の措置を求める意見書」を議員全員の賛成により提出した。






はたん

# 破綻寸前！国民健康保険特別 健康保険税率を改正!!!

市議会に対して、国民健康保険財政の現状と見通しについての説明会が行われました。  
各議員からは、厳しい意見が出されました。

市当局  
の説明

- 平成22年 9月24日  国民健康保険の運営の広域化と財政の安定化についての説明
- 平成22年10月25日  財政の現況と今後の見通しについての説明
- 平成22年11月26日  多賀城市国民健康保険税についての説明

-  **その1** 加入者の状況は、年齢構成が高く、医療費の高騰につながっている。
-  **その2** 平成15年度の税率改正以降、7年間以上税率を維持してきた。
-  **その3** 平成19年度以降は、基金を取り崩さざるを得ない状況にあった。
-  **その4** 医療制度の改正により、75歳以上は後期高齢者医療制度に加入。
-  **その5** このままの状態だと……、  
平成22年度～24年度の財源不足は7億6,800万円  
→ **約30%の負担増に**

以上の説明内容をも含め、医療費の適正化対策、生活予防対策、各種検診に対する助成を行っており、さらに平成21年度から脳健診に対しての受診費用の助成と、財政運営は非常に厳しい状況にある。

その結果、平成22年度～24年度→一般会計から  
約3億8,400万円（約15%）繰り入れすることにより  
→国保税約3億8,400万円（約15%）の値上げに抑制！





# 一般質問

## 1 子宮頸がんワクチン等の公費助成 2 子どもの遊び場

日本共産党 戸津川 晴美

**1問** この度、国は大きな決断をした。ワクチンにより、その六十%が予防できるとされる子宮頸がんワクチンと、子どもたちを細菌性髄膜炎から守るヒブと小児用肺炎球菌ワクチンに対し、市が助成を決めれば、国はその二分の一を措置するというものだが、本市の対応は。

**答** 本年十一月に国の補正予算が成立し、その中で「子宮頸がん等ワクチン接種緊急促進特例交付金事業」が設けられた。現時点の概要では、県に基金が設置され、平成二十二、二十三年度の二カ年度に限り、市町村がその接種費用を助成した場合に交付金が交付されることとす。本市としてもこの制度を活用したいと考えており、その内容を踏まえ、実施内容・方法を、近隣市町や塩釜医師会等と調整しながら実施します。

**2問** 八幡公民館裏の空き地を、子どもたちが自由に遊べる広場として、活用していただきたい。最近では、校庭も休日には自由に入れない。公園でのボール遊びなども制限がある。スポーツ公園は申し込みが必要。子どもたちが気軽に遊べ

る場所が少ないと思うが。

**答** この土地は、市有地のほか、東北財務局管理の国有地が混在しており、四十年ほど前からの懸案事項でした。最近になって、国有地と市有地を等価交換により整理することで、東北財務局と協議しながら進めているところです。

現時点では、土地交換後の面積や地形等が確定していない状況であることから、今後の利用計画については、土地を交換した後に、地元の方々の意見を取り入れながら検討を進めます。



▲八幡公民館裏の空き地



# 一般質問

## 1 防災について 2 シルバー人材センターについて

多賀城自民クラブ 森 長一郎

**1問** 防災について、①「緊急地震速報」の活用が、宮城県内の教育現場で進んでないとの河北新報の報道があったが、多賀城市内、小・中学校の現況と対策を伺う。②一部地域では、防災訓練に地域の中学校、中学生の参加を施行している。本市においても推進すべきと考えるが、市長の考えを伺う。

**答** ①平成二十年度の地域活性化・緊急安心実現総合対策交付金を活用し、ケーブルテレビ、インターネット、ラジオ放送等からの緊急地震速報を受信して全校放送する仕組みを、市内すべての小中学校に導入しています。②避難所（学校屋内運動場）の開設だけでなく、日ごろ、地域における防災意識を高め、近い将来に発生することが確実視されている宮城県沖地震に備えてもらうためにも、防災教育の一環として、防災訓練に地域の中学校や中学生が参加することは必要であると考えますので、今後、教育委員会と連携を図りながら、中学校や地域へ働きかけたいと思います。

センターへの国庫補助が三分の一カットという方向性が打ち出されているが、その内容と対応を伺う。

**答** 行政刷新会議のとりまとめコメントで、「昭和五十五年度から長く続いていた事業で、二分の一の補助が非常に大きな既得権益になっているという問題点がある。」とされた。国においては、事業仕分けの結果を受け、種々検討が行われることと思うが、本市としては、国の動向を見守りながら、今後とも適切な支援を行いたいと考えています。

**2問** 事業仕分けにより、シルバー人材



▲平成22年4月に開館しました





**1問** ①造成時総費用、②地権者への用地買収価格、③造成地の分譲価格、④企業への市長のトップセールスの現況について。

**答** ①業務代行方式の組合区画整理事業の場合、概算で約三十億円。ただし、その手法により相当の変動を生じます。②買い取りの予定はありません。③一m当たり四〜五万円を想定しているが、時々的情勢によって変動するものです。④あらゆる機会をとらえて積極的に働きかけを行ってまいりました。また、誘致活動において、ぜひとも工場立地を実現させたい意中の企業があり、その企業には本社を訪問し熱い思いを伝えました。

**2問** ①仙石線多賀城地区連続立体交差事業の高架化の現況と高架化の活用について。②駅周辺土地区画整理事業と公有地の現況について。③駅南側更地の現況と歩道橋の利活用について。④駅北地区第一種市街地再開発事業の現況について。



▲旧長崎屋前歩道橋

**答** ①昨年度末の進捗率は事業費ベースで約六十一％です。面積の約十五％部分を県と市が利用できるため、東日本旅客鉄道を加えた三者で協議を開始する予定です。②昨年度末の進捗率は事業費ベースで約八十一％です。公有地の現況については、区域内の市有地仮換地面積が約二万八千mあり、売却可能面積は約二万二千mです。③半分以上が破産物件で、破産管財人や他の地権者と調整を行っています。歩道橋は一部の方が利用する程度です。④昨年度末の事業費ベースで約三％の進捗率です。北口駅前広場西側のA棟は平成二十五年年度竣工、東側のB棟は平成二十六年年度竣工を目指しています。

自由民主クラブ 板橋 恵一

**1** 八幡字一本柳地区の工業団地化・企業誘致策  
**2** 多賀城駅周辺の高架化・区画整理・再開発

**1問** 「悲願の南門復元実現へ意欲」と新聞報道されたが、六万市民が本当に必要なだと望んでいるのか、市長の考えを伺うものであるが、仮に計画が実現され南門を建設されても、未来永劫維持管理をし続けなければならない。市の負の遺産になりかねないと思う。多賀城には古代の建物が残っていない。市にとって十五年以上前からの悲願「設計図もあり、多賀城のシンボルとなるようなものを造りたい」と意欲を見せる市長、市民に幅広く説明、理解を求めることが最優先と考える。

**答** 南門復元は、来年度以降において、復元計画や多賀城跡建物復元調査検討委員会の新たな立ち上げをして、その検討結果等を踏まえ、また、市民の皆様への問いかけも必要かと思えます。それらを総合的に整理し、精査した上で最終決断をします。なお、多賀城南門の復元は、市民の多賀城市に対するアイデンティティの構築など、史都多賀城としてのまちづくりにとって、多大な効果をもたらされるものと確信しているため、市の負



▲多賀城生協前

**2問** 現在工事中の市道多賀城生協前、留ヶ谷線の一部の速度制限を三十kmにすることによって、市民の日常生活の安全確保を図るべきと考える。

**答** 工事完了後の幅員は八〜九mとなることから、通常であれば速度制限は四十km規制となるのが一般的です。なお、当該多賀城駅周辺で進む付近一帯の道路改良工事等の進捗状況に合わせて、総合的な交通安全対策などについて、関係機関と協議したいと考えています。

民政ネットクラブ 雨森 修一

**1** 多賀城南門の復元計画について  
**2** 市道の制限速度について



一般質問





## 一般質問

- 1 工業団地と雨水対策
- 2 子どもの医療費助成拡大
- 3 TPP問題
- 4 米価下落対策

日本共産党 柳原 清

**1問** ①豪雨時には、砂押川の水位が地盤より高くなり、西部地域の自然排水できない雨水が工業団地予定地に集中するのではないかと。②第三回定例会で「庚田排水樋門より砂押川の水位が高くなるのは五十年に一度なので、当面は南宮ポンプ場を整備しなくても良い」という要旨の答弁があったが、認識を問う。

**答** ①現在の排水計画は、河川改修計画との整合を図った上で、毎秒約百トンポンプ排水することになっており、砂押川全体計画との整合は図られていると認識しています。②今後、雨水幹線が整備されること、中野ポンプ場にも余裕があり、庚田排水路も整備することから、対応は十分に可能なものと考えています。

**2問** 昨年4月より子ども医療費助成が小学校就学前まで拡充されたが、さらなる年齢の引き上げをされたい。

**答** 多額の財源を必要とすることから、大変難しい現状です。

**3問** TPP参加で日本の食料自給率は四十%から十四%に急落し、米の九割が壊滅すると予想されている。TPP参加

に反対の立場を明確に表明されたい。

**答** TPPへの参加は、まず農業対策の方針をきちんと打ち出し、関係者への安心を引き出すことが前提です。

**4問** 今年産米の概算金が、八千七百万と昨年より三割も下がっている。市としての対策はどうか。

**答** 国では、米戸別所得補償モデル事業を実施し、仙台農業協同組合の融資制度もあります。本市では農業所得の向上を図るため、今年から「農家自立経営スタートアップ事業」を実施しています。



▲砂押川庚田排水樋門



## 一般質問

- 1 歴史的文化遗产について
- 2 地震対策(地震に強いまちづくり)について

民政ネットクラブ 金野 次男

**1問** 昭和四十四年から本格的に発掘調査・史跡調査が始まり、五十年を迎え、東北の中心地、政庁跡や外郭南門等が明らかになった。今後の整備基本構想・基本計画等を早急に策定し公表すべきではないか。

**答** 整備構想等の策定及び整備については、特別史跡多賀城跡附寺跡第二次保存管理計画の整備活用計画に基づき実施することとなっていますが、現在、策定作業を進めている特別史跡多賀城跡附寺跡第三次保存管理計画が完成した時点で、広く市民に公表したいと思っています。

**2問** ①公共施設の耐震診断及びその対処について、平成二十二年度末までの進捗状況を伺う。②市役所の東庁舎の耐震対策を今後どのように進めていくのか公表されたい。③災害時の避難場所となる小・中学校屋内体育館の天井からの落下物防止対策をどう考えているか伺う。

**答** ①診断が必要な建物は四十三棟で、実施済みの建物は四十一棟です。残る二棟も早期に実施します。また、対策が必要だった建物は三十二棟で、本年度中に

は学校施設及び保育所を含めた二十八棟の対策が完了する予定です。②現在、「庁舎耐震対策等事業」の基本構想を策定中です。市民サービス向上のため「西庁舎と一体的にワンフロアサービスを提供できる建物」等を目指し、平成二十七年

度までに完了する計画です。③小中学校の屋内運動場は、構造上落下の危険性は低いと考えます。また、耐震補強等の際に、特に照明器具については落下防止対策を施しました。今後工事を予定している学校も同様の対策を施す予定です。



▲多賀城南門復元図





日本共産党 佐藤 恵子

## 1 市長の政治姿勢を問う 2 住宅リフォーム助成制度の実現に向けて進捗状況はいかがか

**問** 今議会で国保税の十五%の引き上げが決まった。市民に新たな負担が課せられることになり、給料や年金が大きく下がる中、市長は市民生活を応援する立場に立つべきと考える。くらし応援施策の一つとして、十年間にわたり二十億円以上の黒字を続けている水道料のさらなる引き下げをすべきと考えるがいかがか。

**答** 現在の料金は、適用期間を五年間として財政収支見込みをたてています。確かに、単年度による当年度純利益見込額の比較では、当初予算及び財政収支見込みからは、ともに増加となっておりますが、今後とも予想される水需要の減少の中、老朽施設の更新、さらには災害に備えた耐震化等を計画的に行っていくためには、料金改定初年度である本年度のみを見て、料金の引き下げを判断することはできません。

**問** 本年第二回定例会で、市長は地元中小建設業者の皆さんの声と運動を受けて、住宅リフォーム制度導入に向けて検討すると答えているが、①導入に向けての進捗状況は。②実施の際には、住宅本

体にとどまらず、危険ブロックの改修等、住宅全体の改修整備を含め、市内の幅広い業種、業者が制度の対象となり、恩恵を受けられる仕組みを整えるべきと考えるがいかがか。

**答** ①平成二十三年度事業として実施したいと考えています。②この事業を円滑に進め、市民が利用しやすい制度とするために、個人の建設事業者の協業化を図り、市民に代わって代理申請などを行ったり、総合的な工事にも対応できるように、個人事業者の支援を行います。



自由民主クラブ 米澤 まき子

## 1 施設分離型小中一貫教育の取り組みについて 2 市独自の特別支援事業について

**問** 「中一ギャップ」や学力低下、少子化に対応するため、全国でも特例校として八百近い学校で小中一貫教育に取り組んでいる。本市でも、東豊中・東小で施設分離型の小中一貫教育の取り組みを実施してはいかがかか。①小中一貫教育の取り組みを踏まえて、小学校高学年からの教科担任制導入について。②中学校区での小中交流拡大を市内全校同一歩調で行うことについて。

**答** この取り組みの多くは、小規模校の課題を解決するための側面があります。また、同一施設、施設分離を問わず一人の校長が学校経営を行うのは、本市のような大規模校では運営上大きな課題があります。①既に、少人数指導やT・T指導に取り組んでおり、一部教科担任制の要素を取り入れています。②指導主事学校訪問や校内研究授業等で、教員が相互に研究授業を行ったり、六年生が中学校の部活動を参観する等、交流を進めています。

**問** 現在「太陽の家」で行っている療育指導・相談事業をまとも専門機関との連携を図り、相談支援ファイルの活用と

乳幼児期から成人期に至る一貫した市独自の特別支援事業を行ってはいかがかか。

**答** 支援の継続性を図る上で、相談窓口関係者・関係機関の専門性と情報の共有化を図り、一層の連携強化が望ましいことから、太陽の家は障がいを持つ乳幼児の早期療育・相談等の拠点施設として位置付けていきます。相談支援ファイルは、現在相談記録を積み重ね活用を図っておりますが、さらに、保護者の方が作る個人ファイルの活用も必要なので、その作成や活用についての相談指導を行います。



▲登米市豊里小中学校

一般質問





# 一般質問

## 多賀城跡調査五十周年を契機に、市制施行四十周年の平成二十三年度に南門復元の市予算化を

多賀城自民クラブ 吉田 瑞生

**問** 今年度は、平成七年度に「特別史跡多賀城跡建物復元工事実施設計書」を作成してから十五年目の年に当たる。①多賀城跡調査五十周年記念の今年を契機に、特別史跡多賀城跡の象徴（シンボル）をつくる南門の復元事業に着手するため、市制施行四十周年の平成二十三年度に予算化されたい。②多賀城跡の南門復元事業計画に関する日程（スケジュール）を作成されたい。③文化庁との協議、資材調達、棟梁の選定などの取り組みを図られたい。④多賀城跡建物復元調査検討委員会（委員長・稲田栄三明治大学教授・建築史学）を再構築されたい。⑤地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律（通称・歴史まちづくり法）に基づき、国との協議の進捗状況と認定の見通しを。



▲多賀城南門復元図

きたいと考えています。なお、多賀城南門復元事業は、市制施行四十周年にあたる平成二十三年度から、実現に向けての一步を踏み出したいと思っております。⑤関係省庁と8回もの協議を重ね、本市の歴史的風致のとらえ方に対しては承認が得られています。現在は、歴史的風致を取り巻く課題と維持向上させるための基本方針、その基本方針を実現するための整備や管理に関する事項について大詰め協議を行っており、年度内に申請し早期に認定が得られるよう努力します。

**問** 本市は、市民主体、市民参加のまちづくりを目指している。その拠点となる「サポセン」の利便性向上の観点から、エレベーターの設置をされたい。  
**答** 平成三十四年度をめどに、現在はその具体的実現に向けて関係機関と協議をしています。  
**問** 今年度中の認可目標で策定中の歴史的風致維持向上計画であるが、その重点区域となる中央公園南面の現計画を以下の理由から変更されたい。①現計画は、歴史的風致維持向上計画の目的である歴史的風致向上を損ねると考えるがいかに。②地域経済活性化につながる観光創造拠点（道の駅）として活用すべきと考えるがいかに。  
**答** ①玉川岩切線の北側には、歴史と自然環境空間として文化財を活用した歴史公園の機能を、南側には城南地区の生活の場につながる中間的な生活環境の空間として大路広場や運動施設の機能を持たせていますが、市民や議員とも議論しながらこれまで進めてきた経緯があり、ここに來ての計画変更は考えていません。



▲多賀城市民活動サポートセンター

しかし一方では、特別史跡の一部や重要文化財が中央公園内にあることから、当然に歴史的風致維持向上計画での重点区域内に位置づけ、歴史的風致の維持と向上を図る必要があると認識し、本市の歴史的風致が公園利用者にも十分に理解されるような整備に努めます。②中央公園内に道の駅を設置することは条件的にかなり難しいことから、農商光連携（農業・商業・観光の連携）を進めていく中で、交通の利便性が高く、また、農業の生産現場に近く、体験型農業施設の立地等も考慮した場所を検討します。

公明党 松村 敬子

## 1 市民活動サポートセンターへのエレベーター設置について

## 2 歴史的風致維持向上計画について

# 一般質問







新政クラブ21 中村善吉

## 1 大代横穴古墳(墓群)の管理について 2 暫定排水ポンプ場の管理について

**問** 近年、多賀城市にとって貴重な大代横穴古墳の穴天井部二カ所が崩落し、その内一カ所は何年か前、二カ所目は本年九月とのことであるが、①管理の実態はどうなっているか。②崩落対策及びその補修について。③横穴古墳周辺の管理はどうなっているか。

**答** ①発掘調査により古墳時代の刀などの遺物が発見され、現在、市埋蔵文化財調査センターに全て保管しています。土地は民有地であり市で管理はしていませんが、所有者に了解をいただき説明板を設置しています。②削平された部分の横穴古墳の調査は既に終わっていることや、土地が民有地であることから、所有者に了解をいただき、注意を促す看板を設置しています。③今年度から大代地区住民が組織した「大代地区遺跡を愛する会」に清掃管理を委託し、横穴古墳周辺の草刈りやゴミ収集などを実施しています。



[近年崩落した横穴古墳]  
多賀城市が誇れる貴重な古墳なので、大事に管理していきたいものです。

ないか。③予期せぬ事故による停電対策はどうなっているか。

**答** ①下水道課職員と、委託している建設業者等が担当しています。②排水口よりも河川の水位が上がって自然流下ができないために、堤防上や道路上にホースを這わせて排水しているのので、押し出し方式での改善は無理と考えています。③市内の建設業者等に発電機設備の設置や排水ポンプの運転操作等の業務を委託し、万全を期す体制を整えています。



公明党 相澤 耀 司

## 1 図書館について 2 国府多賀城駅周辺整備について 3 名刺にカルタの活用を

**問** 書物の出し入れから管理までをタッグつきコンピューター管理をしてはいかがか。少人数で手早く確実に蔵書の出入れ管理が可能である。今後の多賀城市での図書館管理にぜひ活用すべきではないか。併せて近隣市町との合同管理も提案したい。

**答** 導入にはかなりの設備投資も必要なことから、現段階での導入は難しいと考えています。また、近隣市町との合同管理については、インターネット蔵書検索サービスにより、既に全国の公立図書館とネットワーク化がなされ、蔵書検索だけではなく相互貸借も可能となっております。利用者の利便性は確保されていると理解しています。

**問** 国府多賀城駅周辺整備について、今後の見通しを伺う。

**答** 清水沢多賀城線は多額の事業費を要することから、現段階では事業着手のめどが立っておらず、暫定措置で国府多賀城駅の南側をパーク&ライド施策の一環として無料開放しています。しかし、本市以外の住民も利用可能となっているこ



とから、南口へ直接アクセスする市道の整備及び路外駐車場を設置して、維持管理負担金を徴収できないかなど、関係機関と協議しながら検討します。

**問** 多賀城には既にすばらしいカルタがある。市の広報活動にぜひこのカルタを活用してはいかがか。

**答** 名刺として活用できるよう、観光協会に働きかけます。また、市民の方々も利用できるよう読み札をホームページに掲載するなど、より多くの方々が利用できるような方法についても検討します。

一般質問





# 一般質問

## 一次産業の振興策について

新風の会 深谷晃祐

**問** 市長は、二期目の公約として、農家の自立支援と地場産品の流通販売の確立及び「道の駅」の創設を検討とありますが、現時点での具体的構想を伺う。

**答** 「農商光連携」（農業・商業・観光の連携）新たな商品の開発支援とありますが、具体的な構想を伺う。

**問** 本年度の米価の大幅下落に引き続き、2011年度にはさらなる減反の強化が見込まれ、農家の現状は大変厳しい状況にある。市長は、今後の多賀城市の農政をどのようにけん引していくつもりなのか伺う。

**答** 市では、稲作依存からの脱却を目指して他の農作物への転換を視野に入れ、昨年度より若手農家の方々と研修等を実施し、今年度からは、「農家自立経営スタートアップ事業」を開始しました。

農家の自立経営には、生産性と所得の向上が不可欠で、生産する品目も、安定し、なおかつ市場ニーズに適合した農作物への転換が必然です。また、その農産品は、農商光連携による本市独自の商品開発した特産品としての位置付けが鍵となることから、現在、多賀城・七ヶ浜商

工会で、七ヶ浜町と本市の物産を組み合わせた商品開発を進めています。

このような特産品も含めた農産物は、流通、販路の開拓や確保が必要です。その実現のため、公約に掲げた「道の駅」の創設を検討しており、将来の運営等にもつなげる前提として、来年度からは、NPOや商工会、農協などの各団体が主体となり、多賀城駅前で賑わいと地産地消の推進を目的に開催される「月の市（いち）」事業を支援したいと考えています。



▲西部地区の田園風景



# 一般質問

## 1 「道の駅」の設置場所 2 図書館の体制 3 多小・山王小の学校日誌

日本共産党 藤原益栄

**1問** 市長は九月議会で「多賀城インター」付近への「道の駅」設置を表明した。しかしそれでは①財政が厳しいなか「中央公園管理センター」と二重投資となり、②電車・徒歩で多賀城跡を訪れる方々は利用できず、③採算もとれるか疑問である。多賀城インター付近への「道の駅」設置は取り止め、中央公園内に予定している「管理センター」を拡充し「物産館」を兼ねた施設とされたい。

**答** 現在の中央公園整備計画での管理棟及び駐車場は、公園利用者用であり、その機能を拡充して道の駅を併設した場合、相当の面積の管理棟と道の駅利用者のための駐車場も新たに必要となることから、中央公園の本来の機能を損なうことになるので、道の駅の併設はできないものと考えています。

**2問** 来春、二名の司書職員中、三十年來司書を務めてきた職員が退職する。引継ぎ等の体制はどうなっているか。

**答** 現在、図書館に勤務する常勤職員の司書は二名であり、退職する職員が担ってきた司書業務は、残るもう一名の司書

が担当すべく、かねてから円滑な業務引継ぎを指示しております。

**3問** 多賀城小学校の学校日誌は記念誌「多賀城小学校の百二十五年」に反映されているが、山王小学校の日誌は未だ活字化されていない。冊子化するとともに、両校学校日誌を市文化財に指定されたい。

**答** 資料の数が膨大で、相当の時間がかかると思われませんが、いずれ何らかの形でご覧いただけるよう考えます。

文化財への指定は、内容を整理した後、文化財保護委員会に諮り検討します。



▲多賀城市立図書館





### 安心して安全に子どもたちが携帯電話を 利用できる環境整備の必要性について

多賀城自民クラブ 伏谷 修一

**問** 携帯電話の所有率が急激に高まるとともに、低年齢化も進んでいる。またタブレットに巻き込まれる内容も金銭的問題だけではなく、精神的な問題等多様化していることから利用環境の安全対策が必要と考えるが、次のポイントからどう。平成二十一年に施行された青少年が安全に安心してインターネットを利用できる環境の整備等に関する法律から、小・中学校のフィルタリングへの認識と取り組みについてはどのような対応を取っているか、また文部科学省が調査し昨年五月に発表があった本市の状況はいかがか。

**答** 本市の状況は、メールは小学六年生約二十八%、中学三年生約五十一%が利用していると答え、国調査と比較して小学生はほぼ同じ、中学生は国調査より低い状況となっています。また、本市の小



保護者の方に代わって危険・有害なサイトを自動でブロック

学六年生の携帯電話の所有率は約二十五%、中学生は約五十四%で、そのうち、小学生の約九十%、中学生は約八十%が保護者との約束があると答えています。

フィルタリング等の機能により不適切なサイトを閲覧できないように制限するよう、学校や関係機関とも連携して、保護者に働きかけていきます。

「正しく利用できるルール」については、既に、市教育委員会で各種の規定を作成し各学校へ周知しており、学校でも同様の取り組みを行っています。



### 新年度予算編成について

市民クラブ 浦 泰 己

新年度予算編成も大詰め段階である。編成には、これまで以上の努力と覚悟が必要だ。緊急性や必要性の観点から徹底した見直しを行うべきだが、福祉・医療等生活直結分野は安易な削減は避けるべきと思う。今回は過去の一般質問を再度取り上げ、関心ある項目を選び質問をした。

**問** ①選択と集中をどのように図り、重要な施策を実現していくのか。②排除すべきは借金である。よって、収入の何カ月分に当たる借金があるか。③実質債務月収倍率を過去三年度計算し、新年度はどのくらいに抑える方針か。④インセンティブ予算を導入しているのは承知しているが、今後さらなる全庁的な取り組みの考えは。⑤新年度も妊婦無料健診十四回を堅持し、妊婦健診の検査項目に成人T細胞白血病の抗体検査を実施する考えはあるか。

**答** ①施策優先度を踏まえ、集中して取り組むべき重点課題を解決するため、経営資源の集約化・重点的投資、効率化により、既存事業の重点化と新規事業の創



▲新年度予算編成中

出を図ります。②国の経済対策により市債の発行額が増加傾向にある状況下、この時点で具体的な数値を提示することは困難ですが、今後も財政の健全性を保つため、地方債現在高の抑制に努めます。③職員全員が既成概念や前例にとらわれず、緊急性や必要性の観点に立って事業を見直す意識を持つことが重要なので、そのような意識の高揚を図るとともに、インセンティブ制度の活用を促進します。④国でも、平成二十三年度は「妊婦健診に対する公費助成の継続」が決定しました。

一般質問





# 一般質問

## 1 通学路の安全確保について 2 道路の拡幅整備について 3 待機児童解消について

公明党 根本朝栄

**■問** ①市道中山王一号線から市道西町浦三号線の間にある水路沿いの狭い道路は通勤・通学路となっており、車一台しか通れない大変危険な道路になっているため早期に拡幅整備を。②東北本線北側の子どもたちは線路を渡り市道新田上野線を横断しなければならず、子どもたちの安全確保のため「押しボタン式信号機」の設置を。

**■答** ①拡幅予定部分には建物やブロック塀があり、早期整備は困難ですが、当面水路に蓋を掛けて歩道として利用できないか、通学時間帯の通行規制ができないか、通学時間帯とも協議し検討します。②信号機設置は困難である旨、塩釜警察署から回答があったので、通行するドライバーへの注意喚起を促すための「カラー路面舗装表示」などの交通安全対策を講じたいと思います。

**■問** 三陸自動車道の側道である市道市川八幡線は、道路幅が狭く接触事故が発生しているが、拡幅整備について今後の計画はどうか。

**■答** 一本柳の工業団地の計画に合わせて



▲安心・安全な通学路の確保を

## 議会日誌

平成22年9月29日～平成22年12月19日

- 9月10日 ●議会だより編集委員会(1回開催)
- 議会だより編集委員会(3回開催)
- 15日 ●議会運営委員会
- 18日 ●文教厚生常任委員会視察調査(～20日)
- 19日 ●総務経済常任委員会視察調査(～21日)
- 25日 ●大分県宇佐市議会視察来庁  
●説明会(国民健康保険特別会計の財政見直し)  
●議会運営委員会
- 27日 ●埼玉県和光市議会視察来庁  
●宮崎県日向市議会視察来庁
- 28日 ●愛知県江南市議会視察来庁  
●議会だより編集委員会(1回開催)
- 11月2日 ●建設水道常任委員会
- 8日 ●建設水道常任委員会視察調査(～10日)  
●兵庫県伊丹市議会視察来庁
- 9日 ●名取市議会視察来庁  
●三重県伊賀市議会視察来庁
- 19日 ●議会運営委員会
- 26日 ●第3回市議会臨時議会  
●説明会(国民健康保険税率の改正外4件)
- 30日 ●文教厚生常任委員会視察調査  
●議会だより編集委員会(2回開催)  
●議会運営委員会(6回開催)
- 12月8日 ●第4回市議会定例会(～12/15まで)  
●説明会(第五次市総合計画に係る基本計画外2件)
- 9日 ●説明会(平成23年4月における組織改編)
- 17日 ●会派代表者会

## 私もひとこと

### 傍聴席から

**■本** 日は高崎自治会の研修のひとつとして傍聴させていただきました。身近にありながら意外と遠い市議会でありましたが、議会だより等で知るよりは百聞は一見にしかずのとおり、とても身近に感じられ勉強になりました。行政のチェック機関としての市議会。これからも市民の目線に立った建設的で熱い議論をお願いしたいと思います。

(高崎在住 山崎進伍さん)

**■今** まで市政について知らなかった事が次々と出てきて、大変勉強になりました。もっと市政に関心を持たないといけないと痛感しました。

(高橋在住 佐々木一夫さん)

**■議会の構成が変わりました**  
議会だより編集委員会  
森長一郎議員が議会だより編集委員に選任されました。

**■文化の日表彰**  
小林立雄元議員が、このたび永年の功績が認められ、地方自治功労を受賞しました。

**■おわびと訂正**  
第七十三号において字句に誤りがありました。5ページに単位の誤りがありました。最終ページの「議会の構成が変わりました」で、「森長一郎議員が辞職」→「森長一郎議員が辞任」の誤りでした。おわびして訂正申し上げます。

一般質問・議会日誌



# 行政視察結果を報告します。

## 総務経済常任委員会

期間 平成22年10月19日～21日  
視察先 下関市、防府市、福山市

下関市では、民間経営の手法や技術力を活用し効率的な事業推進を有効と考へ、公設民営方式を採用した生涯学習プラザの計画から資金管理運営までの説明を受け見学しました。

防府市では、防府駅周辺じん口地区再開発事業を見直した経緯を考察しました。以前の百貨店誘致構想を経済環境の悪化により身の丈に合った再開発事業のフレームへスライドした経過と新たな仕組みづくりへ移行した時の問題点等について調査しました。本市と同じく連続立体交差事業を契機に始まった事業なので、中心市街地のまちづくりも含め、とても興味のある事業でした。

福山市では、都市ブランド力向上のために立ち上げた「福山さらりプロジェクト」のシティセールスの観点から行った事業、JR福山駅新幹線ホームへの大型観光宣伝看板の設置や企業コラボしたプロモーション都市PRトラックシールについて取り組みの効果を検証しました。三市とも、本市の中心市街地活性化に向けた取り組みに大切なポイントとなるので、事業内容を精査し今後市政の参考とすべきものでした。



本年度の視察は「小中一貫校」、「完全米飯給食」等をテーマに、子どもたちが未来へ明るくすてきな笑顔で育つことを願い、教育行政に集中して行いました。まず端的に言えば、新潟県は教育県です。本市も含めて、児童生徒の学力低下や不登校等、問題に直面している自治体は多い。長岡市は、小中一貫は行っていないが三市の共通は、教員の増員配置を市単独で予算化していることです。

視察して気づくのは、児童生徒の表情が明るく、あいさつと礼儀がしっかりしていること、校舎も整然としてきれいであることです。保護者をはじめ、関係者は、機会をとらえてぜひ訪問してみたいかがでしょうか。それこそ「百聞は一見に如かず」です。米飯給食により和食献立が見直され、児童生徒の肥満や脂質異常者の減少が見られ、また残食率も大きく改善されています。本市の給食の米飯日割や食材農産物の減、無農薬栽培等、生産者との協力関係や調達法が今後の課題となるのでは。

## 文教厚生常任委員会

期間 平成22年10月18日～20日  
視察先 三条市、長岡市、柏崎市



那覇市では歴史文化遺産の保存と活用、協働のまちづくり、下水道中止基準について視察調査を行いました。

特に、文化遺産、首里城跡（首里城正殿）は、沖縄最大の木造建築物ということだけでなく、日本と中国の建築様式を見事に取り入れ五十年の歳月をかけ復元・修復したもので、世界遺産にも登録されるなど、その修復への取り組み方と遺跡の活用は、本市の南門復元を考へる上で大いに参考となりました。

南城市では、特定用途制限地域等について調査を行いました。これは、町村合併に伴う、新たな都市計画の策定、都市計画区域再編の中で、規制誘導制度の一つとして進めています。特に、地域別まちづくり会議等における合意形成をもとに、多賀城市の三倍の面積を持つ南城市には遊技場（パチンコ店等）が一軒もないのには驚かされました。

浦添市においては景観まちづくり計画について調査しました。景観法に基づく取り組みから景観まちづくり計画の中、「目標・理念」を定め市独自の取り組みを取り入れ、計画の対象は市全域とし、「景観計画区域」のある地域では屋根瓦・壁面・生け垣等に助成を行っています。

## 建設水道常任委員会

期間 平成22年11月8日～10日  
視察先 那覇市・南城市・浦添市



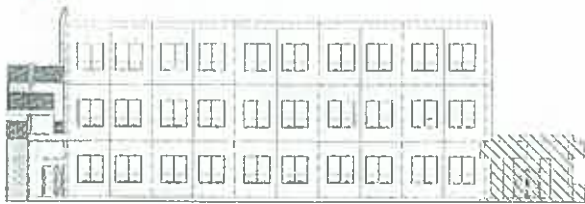


# 追跡レポート

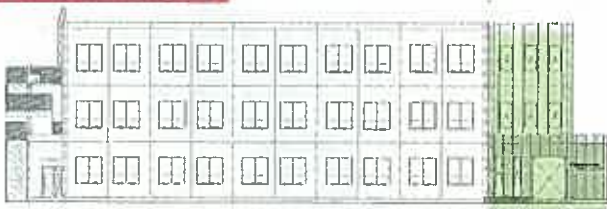
## あの質問 怎么样了？



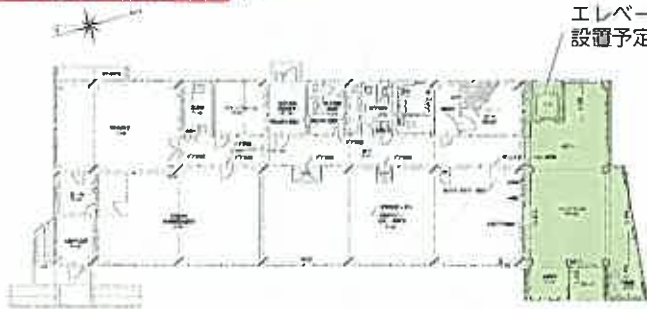
改修前



改修後（検討中）



改修後（検討中） 1階平面図



エレベーター  
設置予定

多くの議員が一般質問等で取り上げた問題で、市長の答弁がその後怎么样了のか？  
対応を追跡しました。

### 市民活動サポートセンターにエレベーター設置を！

### A 平成24年度めどに設置を検討しています。

市民活動サポートセンターは、3階建ての生涯学習センターを改装し市民活動拠点として平成20年6月オープンした施設で、オープン以来、多くの利用者から利便性・安全性を考慮し、バリアフリー化した公共施設としてエレベーターの設置が求められている施設です。

当センターは、築37年が経過し老朽化していることから総合的な施設の整備が必要であり、既に改修工事（エレベーターの設置を含む）に関する設計業務を委託し、現在はその具体的実現に向けて関係機関と協議をしているとのことです。

レポーター 深谷晃祐記者・松村敬子記者

#### 議会だより編集委員会

- 委員長 板橋 恵一
- 副委員長 深谷 晃祐
- 委員 柳原 清 米澤まき子
- 森 長一郎 雨森 修一
- 松村 敬子

**編集後記** 4月の改選を間近に控え、現メンバーによる議会だよりの編集も残すところあと、一回となった。（しかし、発刊は改選後の5月）

議会改革が求められる今、議会だよりの改革が、その第一歩につながることを信じ、時には白熱した議論を交わしながら紙面改革に取り組んできた。8年間編集に携わった筆者にとその紙面改革は隔世の感がある。

果たして市民の皆様はどうでしょうか？ぜひご意見などをお聞かせください。（松）